

草とり

小林守城

庭の芝生に生えた
まだいたいけな
雑草をむしることになった
名もあるはずだ
したたかにこれからゆっくり
小さな花も咲かせるだろう

それが困る
なんのことはない
きれいな芝生の
美観を保つために他所にいけ
お前らは困った生きものなのだ

里山の母に言いつけられ
子どもらは逃げられず
よく手伝わされた
きれいな畑や庭よりも
作物のために
取るのではない
筆るのだと

だまってごみになれ
人のせいで
だが 絶やすことはしない
できないよ
手でむしり取るのだから
取り残しはつきものだ
気付かれぬように
身を隠す奴だっていよう
化学薬品や機械ではない
手で筆ることは
田舎育ちの身についた
ちよつとした作法なのだ